

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉦業振興費

事業名 研究開発機器等設備整備充実費(単建)(商工)

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 技術支援係 電話番号：058-272-1111 (内 3096)

E-mail：c11352@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 9,837千円(前年度予算額：12,440千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県債	一 般 財 源
前年度	12,440	0	0	0	0	0	0	0	12,440
要求額	9,837	0	0	0	0	0	0	0	9,837
決定額	9,837	0	0	0	0	0	0	0	9,837

2 要求内容

(1) 要求の趣旨(現状と課題)

地域企業が、(1)震災と原発事故を契機とした深刻なエネルギー制約

(2)原材料価格高騰による輸入製品との熾烈な競争(3)人口減少による国内市場の縮小の状況下におかれる中で、技術優位性の確保及び、製造(生産)コストの削減が緊急課題となっており、企業訪問等による徹底した業界ニーズの吸い上げにより、業界の課題解決を研究開発及び技術支援の両面からサポートする必要がある。

(2) 事業内容

研究開発及び技術支援に必要な機器を導入する他、耐用年数の経過により必要となる機器更新も含め、計画的に工業系試験研究機関の機器充実を図る。

(3) 県負担・補助率の考え方

県内企業への技術支援と企業ニーズを反映した研究開発に必要な機器を工業系の試験研究機関に整備及び修繕を行うものである。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品購入費	9,837	業界ニーズの高い、研究開発及び技術支援のための機器購入
合計	9,837	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

各工業系試験研究機関が掲げる「研究推進計画」に沿って、①次世代産業の育成と地域経済の活性化（モノづくり）、②活力とゆとりのある質の高い県民生活の実現（地域づくり）、③科学技術の担い手の育成（人づくり）を柱に、県内企業への技術支援と企業ニーズを反映した研究開発に必要な試験研究機器（以下、機器という。）の整備、修繕を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
		件 (H28)	件 (H29)	件 (H30)	件 (H31)	%

○指標を設定することができない場合の理由

当事業は、県内企業への技術支援と企業ニーズを反映した研究開発に必要な機器の整備、修繕を行うものであり、指標を設定することはなじまない。

（前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）

県内企業への技術支援と企業ニーズを反映した研究開発を目的に機器の整備を行った。

（前年度の成果）

・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果

各試験研究機関における既設機器の機器購入により、県内企業への技術支援と企業ニーズを反映した研究開発を行い、地域経済の基盤整備に貢献した。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い、△：必要性が低い 	
（評価） ○	<p>県内の企業は中小規模が多く、単独では首尾一貫した研究開発を実施することが難しい状況である。従って、県内企業への技術支援と企業ニーズを反映した研究開発を行うことで、地域経済の基盤強化に貢献しており、事業の必要性は高いと考える。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない 	
（評価） ○	<p>これら機器による技術支援や得られた研究成果は、県内の企業で活用されており、形として事業効果が現れている。</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある 	
（評価） ○	<p>限られた予算の中で、最大限に費用対効果を出すため、各試験研究機関の機器の整備状況を考慮した上で、その使用目的、必要性、使用頻度等から機器の整備・修繕を検討している。</p>

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 <p>今後も企業で活用できる成果を提供していく必要がある中で、業界等から求められる技術の多様化・高度化に対応するには、機器の整備と共に、技術職員の資質を高めるための人材育成を積極的に行っていく必要がある。</p>

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> ・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか <p>引き続き、県内企業への技術支援と企業ニーズを反映した研究開発に必要な機器の整備、修繕を実施することにより、県内産業の高度化ならびに持続的な成長を支援する。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課</p>	
<p>組み合わせる理由や期待する効果 など</p>	